

| 9/4 提出、当会要望書事項 (要旨) |   | 10/31 推進局回答                             | 実際には?  |
|---------------------|---|---|--|
| 1. 説明会実施の形態         | ①説明会の全体計画について<br>・住民の都合で選べるように早急に全体計画を知らせること<br>・地域や日時がバラエティーに富むものにする | ①多くの府民に参加していただけるよう各地で複数回開催予定。           | ・全体計画は示されず<br>・地域は分散<br>・時間帯はいずれも平日で 15 時～が 2 回 16 時～が 1 回 16:30～が 2 回 |
|                     | ②あらゆる媒体を使い、周知徹底を図ること。   | ・周知に努めている。報道発表、HP、府市 SNS 投稿、公共機関にチラシ置き  | 周知されていない。住民の多くに届く府民日より、各行政区のたよりに記載がない                                  |
|                     | ③定員を増やすこと<br>(1 回め、応募が 100 人を超えた)                                     | 会場の規模により設定している                          | 広報が不十分なため、大規模会場を設定するに至っていない。   |
|                     | ④申込時に、聞きたい内容や欲しい資料を記入する欄を設けること。                                       | 直接答えず (他項目回答に混ぜごまかす)                    | 実施されていない   |
|                     | ⑤ライブ配信すること。事後に文章、写真、ビデオを公開すること  | 直接答えず<br>説明内容や質疑応答、アンケート質問と回答を HP で公開   | 実施されていない   |
| 2. 説明会の内容           | ①説明を短縮し、質疑応答時間を多く取ること。  | 計画内容の理解のための説明時間を取ったうえで、できるだけ質疑時間を確保している | 実施されていない<br>(説明と質疑応答時間が半々、50 分ずつ)                                      |
|                     | ②上記 1 ④などをもとに住民が今知りたい内容にすること (7 つの条件の達成状況など)                          | 実施後のアンケートも踏まえて取り組む                      | 今知りたい内容になっていない 不十分ながら・「7 つの条件の達成状況」・依存症の取り組み・関連協定についての資料が追加された         |
|                     | ③テーマごとの説明会、あるいはテーマごとに時間を区切るなどして質問内容が偏らない工夫をすること。                      | 直接答えず (他項目回答に混ぜごまかす)                    | 実施されていない   |
|                     | ④回答の際、資料を再度読むなどの繰り返しをせず、時間を有効に使うこと                                    | 直接答えず (他項目回答に混ぜごまかす)                    | 改善されていない   |
|                     | ⑤知事、市長、IR 推進局長は、直接府民の声を聞くいい機会なので出席すること。                               | 所管である IR 推進局が対応                         | 知事、市長は出席していない。局長については把握できていません   |

### 2023 年度におこなわれた住民向け IR 説明会の場所、日時

- ・第 1 回…8/17(木) 大阪市 18:30～20:15
- ・第 2 回…10/26(木) 富田林 15:00～16:45
- ・第 3 回…10/31(火) 高槻 18:00～19:45
- ・第 4 回…1/26(金) 岸和田 15:00～16:45
- ・第 5 回…1/31(木) 東大阪 18:30～20:15

### ■ 回が進むにつれ露わになった説明会運営の欠陥

- ①依存症対策や土壌の問題など突っ込んだ質問に対し IR 推進局職員だけなので答えに窮する場面が度々ある。  
➡健康局 (依存症) や港湾局 (土壌)、環境アセスのことでは環境局、防災の担当部署、更には液状化対策の差異を聞くために万博推進局の出席を求める。IR 事業者に聞きたいこと (例えば避難計画など) が多くあるので、出席を求める。
- ②一問一答ではダメ、回答した時「質問に合った答えだったか」を質問者に尋ね、再質問を可にすべき。